

健全な医療は、 健全な病院経営から始まる。

病院経営

経済の成り立たないところに医療は成り立たない

附属病院というのは、今まではすべてとはいいませんが、かなり親方日の丸だったと思います。だから、ある意味では、努力しなくても結局は同じだったわけです。

私は東京女子医大に20年いまして、平成7年に新潟大学に赴任してきました。私学でいつも言われていることは、経済の成り立たないところに医療は成り立たないといわれました。全国の国立大学附属病院ではプラスになっているところは、多分1つもないと思います。人件費や他の経費も含めて、収入と支出を全部計算すると、どの大学もみんなマイナスだと思えます。

今は、まだ国立ですから、かなりの制約がありますが、その制約が取ればいろいろなことができると考えております。例えば、病院には人が多く集まりますので、待っている間に買物ができたり、図書館が利用できたりすると、患者さんにとって、とても便利だと思います。

熊本の日赤病院を見ますと、地元のデパートが入っています。病院が5時に終わっても、デパートは7時ころまで営業しています。このように民間の病院は努力をしているのです。

今後、私たちが考えていかなければいけないことは、経済が成り立たなければ医療は成り立たないということを前提にして、健全な経営をしていかなければならないということです。

一般医療をやりつつ、特色ある先端医療で地域貢献する

それでは、新潟大学としてはどうすればいいのか。新潟は全国で5番目に大きい県です。山北町から糸魚川まで、東京～新潟

間の距離があるわけです。人口は250万人。その250万に医科大学は1つしかないのです。ところが、隣の北陸3県300万の人口に対して医科大学は4つもあるのです。新潟県は、いかに医者数が少ないかが分かります。

そこで、新潟大学がまず、最低限やらなくてはいけないのは、新潟県全体の医療を向上させ、県民の健康に貢献することだと思います。ただし、それだけでは生き残れません。今まで総合大学は、全般的にいろいろやれと言われていたのですが、今後は独立行政法人化となりますので、特色を活かせといわれています。いろいろな先端医療。私は腎移植をしています。特色ある目玉をつくって、患者さんにアピールしなくてはいけないと考えております。一般医療をやりつつ、特色あるものも活かしていく必要があります。

新潟大学総合病院というブランドを活かす

また、病院にはせつかく人が集まることですし、場所も一等地にありますので、例えばデパートと提携したり、スーパーマーケットを入れていくことも、考えていく必要があるのではないのでしょうか。また、図書館の開放や、市民公開講座を開いて一般市民に対して啓発をはかることも良いのでは……。

新潟県では、新潟大学医歯学総合病院や長岡日赤病院というのは、ある意味でブランドなわけです。そういうブランドを活かすことも大切なことです。

現在、経営戦略委員長をしています。何が一番大切かという、とにかく親方日の丸体質の意識改革が必要です。「経済が成り立たない」「医療が成り立たない」という、「先生そんなに儲けて」といわれるかもしれませんが、そうではないのです。



高橋公太 院長補佐



第一期工事で完成した病棟

財政をきちんとして健全な経営をすれば、やはり健全な医療ができるわけです。

きちんと評価して、評価の高いものにはお金を出す

学生さんに対して、毎年春に五十嵐キャンパスで医学概論という授業をしています。これはすべての学部の人たちが聴ける講義になっています。医学に興味を持っている人は、他の学部にも結構いるのです。だから、そういう授業を開放したり、自由な行き来をするのも良いのではないかと思います。

総合大学なので、縦割りではなくて、もう少し横のつながりを大切にして、本当の意味での総合的な大学をつくっていくことが必要だと思います。今のままだったら単科大学が並んでいるのと同じです。私たちも横の情報はほとんど入ってこないですから……。

近い将来、全学交流とでもいいですか、あるいは、それぞれの特色を提携していくといったような戦略会議のようなものがもたれる方向に進みそうなお話を伺っています。そうしたら、朱鷺メッセのような場所

を利用して、年に1回くらい総合大学の学術祭を開いても良いのではないかと提案したいと思います。例えば、新潟大学は新潟県に対してどれくらい貢献できるのか、などの共通の課題を出して、各学部で発表を募ったり、それを学生に話したり、ホームページなどで情報公開したりしても面白いのです。

その際、重要なのは評価をきちんとすることです。今まで、国のあり方というのは評価が曖昧でした。例えば、何でも予算で配分してくればその後の評価が曖昧でした。そうではなくて、きちんと評価をして、評価の高いものにはさらにお金を出し、だめなものは削ってしまう。少しずつそういう方向になってきていますが、これから独立法人化に向けて総合病院もその精神を生かす必要性があると思います。

(聞き手：石坂妙子、川瀬知之)



「とにかく親方日の丸体質の意識改革です」